

～新規農業生産法人が耕作放棄地の解消により生産基盤を新設～

茨城県笠間市

取組主体:株式会社 ヴァレンチア

取組開始時期:平成22年12月

解消面積:2.5ha(平成25年11月時点)

導入作物:小松菜、ルッコラ、ほうれん草

1. 取組のきっかけ・経緯

茨城県は、肥沃な大地と温暖な気候、農産物の大消費地である関東圏内に位置しており、営農する環境に恵まれているが、近年、農地が有効活用されず耕作放棄地が増加している。

このため、農業にITを活用したいと考えていた東京のIT企業社長と地元の農業生産法人に勤めていた者が、耕作放棄地を有効活用し消費者に安全・安心な野菜を提供したいとの思いで、平成22年11月に農業生産法人株式会社ヴァレンチアを設立した。

2. 取組内容

まず最初の取組として、笠間市泉地区及び上郷地区の耕作放棄地2.5haを解消し、当該農地にビニールハウス及び井戸を設置した。また、有機JASを取得して、ビニールハウス内で小松菜、ルッコラ及びほうれん草を栽培し、大手スーパー等に出荷しており、生産量は63tとなっている。

3. 今後の課題・予定など

販路を確保したことで経営が安定し、平成25年度にはビニールハウス10棟(29a)を新設し、経営規模を拡大した。これに伴い、農業を志す若者を新たに複数名雇用するなど雇用の場にもなっている。

また、地域農業の担い手として、地元行事への参加や農地集積に積極的に取組んでおり、地域にとって重要な存在となりつつある。

笠間市は、今後も取組主体に対して耕作放棄地や各種補助事業に係る情報提供を積極的に行い、支援していくこととしている。

4. 活用した補助事業

- ・(国)耕作放棄地再生利用交付金(再生事業, 営農定着 2.5ha)
- ・(国)耕作放棄地再生利用交付金(施設等補完整備事業 ビニールハウス48棟、井戸3基)
- ・(県)耕作放棄地緊急総合対策事業(再生作業, 土壌改良 2.5ha)



再生前



再生後